

## 送気・送水ボタン AW-602

### 【形状・構造及び原理等】

#### ＜形状＞

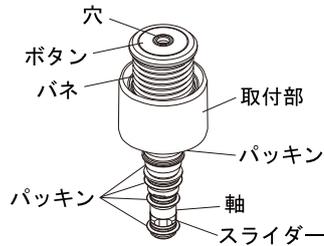


図1

#### 1. 動作環境

温度: +10~+40℃  
湿度: 30~85%RH (結露状態を除く)  
気圧: 70~106kPa

#### ＜構造・構成ユニット＞

##### 1. 体に接触する部分の組成

パッキン : シリコーンゴム  
スライダ : ポリフェニルサルホン  
軸 : ステンレス鋼

#### ＜作動・動作原理＞

ボタン頭部の穴をふさぐことにより超音波内視鏡の送気チャンネルに空気を送る。そのまま、ボタンを半分程度押し込むと超音波内視鏡の送水チャンネルに滅菌水を送る。さらに最後まで押し込むと超音波内視鏡のバルーンチャンネルに滅菌水を送る。

### 【使用目的又は効果】

#### ＜使用目的＞

本製品は、送気および送水機能とバルーンを有する超音波内視鏡と組み合わせて使用し、送気および送水とバルーンへの注水を行うために使用する送気送水ボタンである。

### 【使用方法等】

#### ＜使用方法＞

- 送気送水ボタンの外観に著しい変形、パッキンの破損等の異常がないことを確認する。
- 送気送水ボタンを超音波内視鏡の送気・送水シリンダーにはめ込み、ボタンを押しこんで取り付ける。
- 送気送水ボタンの穴をふさぎ、体腔内へ送気する。また、ボタンの穴を指でふさいだまま半分程度押し込み、対物レンズに送水する。そのまま突き当たるまで押し込み、バルーンに注水する。
- 検査終了後、送気送水ボタンを内視鏡本体の送気送水シリンダーから取りはずす。
- 洗浄した送気送水ボタンを消毒または滅菌(オートクレーブ)する。

#### \* <組み合わせて使用する医療機器>

本製品は以下の医療機器と組み合わせて使用する。

販売名	認証番号
超音波内視鏡 EG-580UR	226AABZX00177000
超音波内視鏡 EG-580UT	226AABZX00141000
超音波内視鏡 EG-740UT	302AABZX00079000

#### ＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

##### 1. 使用上の注意

(1) 超音波内視鏡および本製品の洗浄と消毒(または滅菌)を行う場合は、適切な保護具を着用すること。

##### 2. 準備と点検

(1) 本製品が故障するなど不測の事態に備えて、使用前に本製品の予備を用意すること。内視鏡手技を継続できない場合がある。

#### \*\* 【使用上の注意】

#### \*\* <不具合・有害事象>

本製品の使用に伴い、以下のような有害事象が起こる可能性がある。

感染、損傷、炎症

### 【保管方法及び有効期間等】

#### ＜保管方法＞

送気送水ボタンを、下記の条件(温度、湿度、気圧)を満たす清潔な場所で保管すること。

##### 保管条件

温度: +10~+40℃  
湿度: 30~85%RH (結露状態を除く)  
気圧: 70~106kPa (大気圧範囲)

#### ＜使用期間＞

本製品は消耗品である。使用前点検の結果、必要がある場合は新品と交換すること。

### 【保守・点検に係る事項】

- 使用者による保守点検の詳細は、取扱説明書を参照すること。

#### ＜使用者による保守点検事項＞

点検項目	頻度
送気送水ボタンの外観に著しい変形、パッキンの破損等の異常がないことを確認する	毎症例
送気送水ボタンの穴をふさぎ、送気されることの確認。そのまま半分程度押し込み、送水されることの確認。さらに突き当たるまで押し込み、バルーンに注水されることの確認	毎症例

パッキンの異常は修理できる場合がある。営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にお問い合わせのこと。

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

#### 製造販売業者

富士フィルム株式会社  
TEL: 0120-771669

#### \*\* 販売業者

富士フィルムメディカル株式会社  
TEL: 0570-02-7007 (ナビダイヤル)

取扱説明書を必ずご参照ください。

FQ44A-6 897N202557C  
2308-3.0